

美術部・情報資料部報

美術部・情報資料部所員異動

平成五年三月三十一日付で、情報資料部写真資料研究室専門職員市川和正が退官した。

平成五年四月一日付で、文化庁文化財保護部美術工芸課主任文化財調査官廣井雄一は情報資料部長に配置換となった。

平成五年四月一日付で、所長西川杏太郎は情報資料部長事務取扱を免ぜられた。

平成五年七月一日付で、美術部第二研究室山梨絵美子は美術部主任研究官に昇任した。

平成五年七月一日付で、情報資料部文献資料研究室井手誠之輔は情報資料部主任研究官に昇任した。

国際研究集会

東京国立文化財研究所主催の第十六回「文化財の保存に関する国際研究集会」は、美術部・情報資料部の担当により「東アジア美術におけるへ人のかたち」をテーマとして、平成四年九月二十九日（火）から十月一日（木）の日程で国立西洋美術館講堂において開催された。

美術部・情報資料部公開学術講座

第二十六回公開学術講座を平成四年十一月二十八日（土）午後、国立西洋美術館講堂において左記の通り開催した。

古代木彫仏研究序説―型と素材をめぐって―

日本美術観の形成

第二十七回公開学術講座を平成五年十一月十九日（金）午後、国立教育会館大会議室において左記の通り開催した。

十五・六世紀における唐絵とやまと絵

台湾における近代美術の発達

「日本美術年鑑」の刊行

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」平成四年版（平成三年一月～十二月の記事）は、平成五年三月に刊行された。

「日本美術年鑑」平成五年版（平成四年一月～十二月の記事）は、平成六年三月に刊行された。

黒田清輝巡回展

昭和五十二年以来、年一回開催してきた黒田清輝巡回展を、平成四年度は五月二十三日（土）から六月二十八日（日）の日程で北海道立旭川美術館、同年七月四日（土）から八月九日（日）の日程で北海道立帯広美術館の二会場において開催した。

平成五年度は、七月二十四日（土）から八月二十九日（日）の日程で秋田県立千秋美術館において開催した。

研究会

平成四年度

六月 三日 河南省・鞏県石窟の初唐造像

七月 十五日 クムトラ石窟の中国様式絵画

七月二十二日 美術品保存の伝統

九月 十六日 「人のかたち」をめぐって

二月 三日 中国六世紀七尊仏に見える螺髻像の名称について

三月 十七日 美術史再考

平成五年度

四月二十一日 肖像画をはばかる

六月二十三日 十六世紀の美術と環シナ海文化圏

七月二十八日 古代中国における「極楽」イメージの形成

九月二十三日 「人のかたち」をめぐって

十月 二十日 「人のかたち」と「仏のかたち」の間

―平安初期の山の像―

岡田 健

中野照男

西川杏太郎

総合討議

金 理那

佐藤康宏

米倉迪夫

鈴木廣之

勝木言一郎

総合討議

長岡龍作

十一月十七日 日本美術における人のかたち

―異種・異形・異容―

島尾 新

十一月二十四日 来迎図研究の方法

須藤弘敏

一月二十六日 宋時代の阿弥陀画像

井手誠之輔

甘肅省南北石窟寺とその周辺

稲本泰生

―嵩顕寺碑・南石窟寺碑を手がかりに―

三月 九日 維摩・文殊一対像表現について

石松日奈子

板彫胎藏曼荼羅について

井筒信隆

中国石窟における多仏表現について

曾布川寛

三月 十六日 東アジアの仏教美術作品

河田昌之

―新収蔵品の紹介を兼ねて―

三月二十三日 秋田蘭画の近像型構図の淵源

山口泰弘